



名家手簡

初集 上

44 B
259
1



門 6
259
1

初

集

香雪先生鈎摹

名家手簡

天寧閣藏板



名家手簡初集目錄

上卷

物 徂徠

瀧 鶴臺

深見天漪

佐木池菴

伊藤蘭岨

宇佐美瀟水

下卷

細井廣澤

僧 南谷

伊藤東涯

松下烏石

梁田蛻巖





物徂徠

名篁松字茂卿又号菴園通稱徂右門
享保十三年没年六十三

得也 茲也 之 清徳
何也 加之 徂 徠 云
莫アキ 援 堂 比 鳳 鳴 之 詞
之 也 其 在 家 栞 兒 相
此 爲 其 之 山 堂 以 原

秋山玉山
三井龍湖
江村北海
釋大典
岡本喜庵
佐木文山

服部南郭
中井竹山
釋月僊
釋六如
趙陶齋

孝子為玉面邪古昔三代
時大錯尚且迎之不取忽
諸伏請 之不謹仰送
心本神 子出三河薩集
可印存也也也
聖河 不備

大復
爽鳩大夫

極中

丙子年

細井廣澤

名知慎字公謹別号思貽齋蕉林菴壽勝堂
享保二十年没年七十八

日蓮の御法門を
御開示の御法門
御開示の御法門
御開示の御法門
御開示の御法門

御開示の御法門
御開示の御法門
御開示の御法門
御開示の御法門
御開示の御法門

明して下り
也一あや
又上じ王
事ありの
しるこみ
中しつ
ふか一尺

馬とて
しるこみ
は甲申
とて
名を
王之
皆入

此書乃人
所書也
其書之
法與
此書
無異
其書
之法
與此
書無
異

西書之
十七日
亦書之
又

瀧鶴臺

名長愷字弥八長門侯臣周南歿後為
明倫館祭酒年六十五沒

校山步為所
瀧溪八

是法清福生家
於大佛之文之書
以就中宗之書
正之書之書之書
而於此之書之書
正之書之書之書
正月七日

僧南谷 估：木氏又冒松下氏雜號南谷能書元文元年化

正之書之書 七中火

正之書之書

正之書之書

正之書之書

正之書之書

Handwritten calligraphy in cursive style (sōsho), consisting of several vertical columns of characters.

Handwritten calligraphy in cursive style, consisting of two vertical columns of characters.

深見天漪
名玄岱字子新一字斗膽又号嬰山通梅新右門
長崎人書学獨立享保七年没年七十四

Handwritten calligraphy in cursive style, consisting of a single vertical column of characters.

東の國に
官の國に
水の國に
舟の國に
舟の國に
舟の國に
舟の國に
舟の國に

舟の國に
舟の國に
舟の國に
舟の國に
舟の國に
舟の國に
舟の國に
舟の國に

一東部
...
...
...
...
...
...

伊藤東涯

名長胤字源藏号慥、齋仁齋長子任系所
元文五年没年六十七

稿
吾
山
...
...
...

新記 阿彌陀佛
其の妙を以て 立信口毎
有法を以て 毎日の毎
法を以て 以て信口毎
法を以て 以て信口毎
法を以て 以て信口毎
法を以て 以て信口毎

一 法を以て 以て信口毎
二 法を以て 以て信口毎
三 法を以て 以て信口毎
四 法を以て 以て信口毎
五 法を以て 以て信口毎
六 法を以て 以て信口毎
七 法を以て 以て信口毎
八 法を以て 以て信口毎

三ノ七

了
志
少
田
川

佐、木池菴

名古龍字煥甫通稱万次郎江戶人書
学朝鮮益魯軒享保八年卒

一
日
書

有由、由之口、度
明能、子、能、能、
種、(口)、(口)、(口)、人
第一、(口)、(口)、(口)
一、先、以、能、(口)、(口)、(口)

物、(口)、(口)、(口)、(口)、(口)
神、(口)、(口)、(口)、(口)、(口)
言、(口)、(口)、(口)、(口)、(口)
清、(口)、(口)、(口)、(口)、(口)
事、(口)、(口)、(口)、(口)、(口)
事、(口)、(口)、(口)、(口)、(口)
事、(口)、(口)、(口)、(口)、(口)

あまのついでに

あまのついでに

あまのついでに

あまのついでに

あまのついでに

松下烏石

名辰字君叔後改首辰字神力東武人
書学廣澤後成一家安永元年卒

あまのついでに

烏石

あまのついでに

あまのついでに
あまのついでに
あまのついでに
あまのついでに

てんてん

あはれき...の...は...に...
は...
は...
は...

お...
は...
は...
は...

た...
は...
は...
は...

た...
は...
は...
は...

た...
は...
は...
は...

お...
は...
は...
は...

お...
は...
は...
は...

お...
は...
は...
は...

お...
は...
は...
は...

お...
は...
は...
は...

口月拾之
 帳心
 是行録
 年
 口
 口
 口

伊藤蘭嶋

名長堅字才藏号應躔仁齋五男
 為紀藩文学安永七年没

壬
 年
 口
 口

此法固之其文此
子之其心其商
其者其時其後
其法其言其年
其此其子其好

一信神家之其
其者其心其商
其者其時其後
其法其言其年
其此其子其好

之

梁田 蛻巖

名邦美字景鸞通稱才右衛門仕明石彦
寶曆年中没年八十九

梁田 蛻巖

此名方波おのり金
安貞公三子より

明石、而此亭拙い亭
土坂より三之、河原より
所、跡底より取り出し、不
正、正年中、杜老、松前、ハ
又新、より、と、市、上、市
政、子、部、より、た、海、あ、し、り
お、母、様、降、り、し、り、不、い、り、及

送るべき及てん未だ
舟車に揺るすも
おのれに旅おこ
叩く夕方のそでと
石竹の葉さくは
あつたふと
いふもあらし

五七五
月

宇佐美瀧水

名惠字子迪通稱惠助

拍新玉杯
字七
何

明
地
法
如
法
中

法
法
法
法

1851

Jan 1st

London 1851

Wm. H. G. 1851

